

## 静岡放送

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 活動名  | 読み聞かせ事業               |
| 実施期間 | 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 |
| 実施回数 | 会場 6 回                |

### 【事業実施の成果・課題】

#### ＜子育て支援センターでの読み聞かせ＞

予定数を大幅に超える申込みがあったが、会場の広さの関係で、参加をお断りした方が出た。参加を希望される方、どうすれば、できるだけ全員に受講していただけるかが課題だったので、追加的に 3 月開催を決めた。

#### ＜中高放送部への指導＞

発声練習では、短い時間で吸気することの大切さに気付いてくれた。発音練習ではナ・ヌ・ネ・ノと二の舌の位置の違いを学んでくれた。時間の関係もあり、朗読の指導というところまでは進めなかった。

### 【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

#### ＜小学校での読み聞かせ（重長アナウンサー）＞

今年度は初めて小学校の各学年に、絵本の読み聞かせをしました。対象年齢に合わせた絵本を選び、時間をかけて実施した読み聞かせです。夏休み前ということもあり、休み中に本に触れる機会が増えればという意図もありました。学校側の満足度もかなり高く、子どもたちの反応もととてもよかったと感じています。個人的にも、子どもたちに本を読むことへの興味を持ってもらいたいという思いがあり、今後こうした活動を続けていきたい。

#### ＜中学高校放送部への指導（野路アナウンサー）＞

部活動の放送部では、指導教員がアナウンスメントの専門知識を有することがなかなかないので、そこへ放送局のアナウンサーをはじめとしたエキスパートが入って行って指導することは、飛躍的な読みの上達も期待できると感じた。

### 【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

#### ＜子育て支援センター保護者の感想＞

- ・楽しめる年齢が広がった。大きな絵本で見やすかった。(30 代女性)
- ・近くでも遠くでも自由に動きながら参加できた。(30 代女性)
- ・動き回る子どもに声をかけて一緒に遊びながら読んでいただき、子どもも楽しそうでした。(30 代女性)
- ・平和と戦争について、幼い時から教えたいと思っていたので良かったです。(20 代女性)
- ・戦争のことについて考えるきっかけになりました (40 代女性)
- ・大人にも響きました。(30 代女性)

#### <原田小学校 職員 図書ボランティアの声>

- ・子どもたちが、マスコミの仕事を身近に感じられたのではと思った。
- ・声を張り上げていないのに、後ろまで通る声に感動した。何より「子どもたちとお話を楽しんでいる。」様子がよかった。自分は「失敗しないように。」と気を取られてしまうのでハッとさせられた。
- ・声の準備体操！をし、聞き取りやすい読み聞かせをしたい。
- ・重長さんが「子どもたちの反応を見ながら一緒に本を楽しむ。」とおっしゃっていたように、子どもたちがガヤガヤしてしまっても、だんだんお話の世界に引き込まれ、またそのように誘導するのが、本当に自然で最後は何もストレスなく皆がお話に聞き入る空間ができていくのが、本当に素敵でした。よい刺激と癒しをいただきました。

#### <中高放送部員の声>

- ・1 ～ 2 秒で吸って、ロングトーンはちょっとキツかったです。でも、それで自分は上手く腹式ができてないんだとわかった。
- ・発音については口の部位には細かい名称があって舌をどう動かしてどう息を吐いたら、この音になるってことを初めて知ってびっくりしました。